

一九〇年代に入ってから、良い悪いの見方が変わってきたね。経済優先から生態系・生活まで含めて考えていないとダメだ。経営者の間でも、自らの健康と家庭、人生を問

い直すことがトレンドだとする風潮までもありますが…

荒木 経済優先のアンバランスの反動でしょう。昔から

なく古くからのキャラやジャコウ、その他で作った香りもなかなかのものです。

—時代の価値観が変わる中で、もう一つ、景気の後退が進んでいますね。組合の舵取りとして何を考えますか。

荒木 組合ではプラン95を策定して、これからの京都の家づくり・まちづくりを進め

年頭インタビュー



全京都建設協同組合理事長

荒木 正巨

環境問題にしても指摘する人はいたわけで、立ち行かなくなつて大騒ぎしている。私の生活は、工務店経営と組合活動、趣味(珍しい骨董品収集)の三つで動いている。貧乏暇なしで結構忙しい。まず精神が健全でなければできない。体は次でしょう。リラクセスさせる為に、香をたいています。ハーブのような草の香で

ていこうと考えています。現実にはプレハブ住宅に我々中小工務店の市場が奪われているわけで、住宅産業の先鞭を組合がつけていく必要がある。現在、プレカット、CADセクター、組合型住宅の開発に取り組んでいます。積極的に進めたい。組合事業を通して組合員の力を結集することが必要でしょう。

—今の事業内容では：

荒木 既存の事業では、利用者サイドに立つて考えるところの改善が必要だと思っています。一つは共同購入の問題で、高い安いといった問題も重要ですが、如何に早く正

もう一つは、事務局の問題

です。多角的な組合事業をおこなっていく為に、職員は建設を取り巻く広い知識と担当分野での専門知識の深さが必要です。夢は多くの仲間を入れなが



確に商品を提供してくれるのか。その為には、産直の発想で価格問題も含めて流通を見直していく必要がある。良い商品を生産・供給・消費の三者が一体となって動かせば非常に良いわけです。

ら、名実ともに京都の業界で牽引車になれる組合にしていきたいですね。新年にあたり、組合員諸氏の益々のご発展とご健康をお祈りしてあいさつに代える次第です。

快適な空間づくりにお手伝いします

株式会社 **サンケイユニット**

TEL075-332-9433

〒610-11 京都市西京区大枝東長町1-114

パーティション・トイレブース・内装工事

建設業許可 京都府知事許可(般-4)25492号



ゴキブリ・白アリ

衛生害虫・駆除予防

ビル・建物総合・衛生管理の御用命は

☎ 京都(075) 643-1800

京都府消毒営業公認
日本しろあり対策協会会員

(株) 京都環境衛生センター

京都市伏見区深草西浦町一丁目21

組合員訪問記

100

組合員訪問記も百回目。しかし本当は一回ダブリがあるのが百一人目です。組合の創立四十周年など東奔西走する荒木正亘さん（六十歳）を訪問しました。

荒木さんは、最近よく上着の下に赤いセーターを着

その学校の卒業一期生です

込まれています。この日もその姿が、さりげなくて小粋、という感じでした。

荒木さんは、どんなに忙しかつてもその気さえあれ

十七歳の時、中京の大工に奉公、十年後に独立しま



(株)アラキ工務店社長

あらきまさのぶ
荒木正亘さん

木殺しの勇さんの息子

「何かないか」とか言っ

て組合の事務

所に入つて来

る荒木さんに、

まだやって欲

した。宮大工の棟梁で「木殺しの勇さん」と呼ばれ、その仕口の技は有名、エエ

ば時間はつくれるし何でもできる、と強調します。

大工やったお父さんを雇い入れるという、かなり大胆

「こわいもの知らずで何でもアタックしたよ」「やったことないことでも引つ込ま

で変わった船出でした。

み思案にならず、どうしたらできるかを考えてきた」

「若い時、堀川の組合（現在の京都府建築工業協同組

経営の名コンビとして活躍している弟さんや、住み

倉）に入って、学校（現在の同組合の専門学校）を仲間

込みの若い職人を育てるために縁の下で働いた奥さん

間とつくりました。わたし、

度混乱があつてもしかたない、開墾ですから。スロー

ガンをつくつたら反対とか賛成とか出せる。何もなかったら何も生まれませんよ」

そしてやはり若い人を育てる話に戻ります。

「機械化によって技術を教える機会が減った。後継

者を育てる教育機関が必要

です。寮も建てて。中小企業が一企業でできないことを組合がする。それが組合の役割ではないでしょうか」

還暦を過ぎた荒木さん。アラキ工務店の社長として、建設協組の理事長としての活躍をまだしばらく続けようです。

(近藤)

多彩な印刷メディアを早く、美しく、心をこめて——総合印刷センター

企画・デザイン・編集・印刷・出版

(株)京都機関紙印刷センター

〒601 京都市南区久世殿城町330-1 TEL 075-935-5111 FAX 075-935-5100

きかんし印刷

謹賀新年



理事長
荒木正亘

仲間との連携強化で 難局を乗り切る

新年、明けましておめでとうございます。

さて、ここ数年不況産業の最右翼である私達建設関連業種は特にこの一年激動の荒波にもまれ、多くの仲間である組合員企業がその大波を受けて廃業や倒産の浮目にあわれたことは大変残念であり、断腸の思いです。組合としてもプラン二〇〇〇の見直しを始め、数多くの問題や事業に役職員・組合員各位一丸となって取り組み、運動を進めてまいりました。

出口の見えない不況のトンネルのな

か、本年も昨年にな引続き、組合員企業と共に力を合わせ、多くの問題の解決に努力してまいります。一つには、民間設備投資の先細り、益々激化する大手住宅産業の攻勢の中、どう仕事を確保するのか、

中小建設業者へ向けて公共事業の拡大要求の取り組みを強力に推し進めたいと思います。又、建築基準法改正に伴い、今後出てくる問題として、性能保証、性能規定など組合としてどう取り組み、どう対処するのか、対策を講じたいと思う。また企業防衛の手立てとしてあらゆる局面を想定し、経営に役立つタイムリーな情報発信に取り組みでいき、各種の研究会を通じて多くの仲間との連携を強め、この難局を乗り切るため力強く進んでいきたいと願うものです。

組合員の皆様の絶大なる御支援と御協力をお願い致しまして年頭の挨拶にかえます。

一九九九年 元旦

顧問

浅田源三郎
足羽徳
他谷岩佐
渡辺馨

参与・理事

永野修一

副理事長

中坊健三
山内茂

第一事業委員会理事

藤野実
井上徳二
小畑道弘
谷垣頼男
谷沢二郎

第二事業委員会理事

杉原武
中西孝雄
阿田好真
中村哲男

営業委員会理事

小林守男
田島彰夫
岩谷清
仲山明

洛南委員会理事

井上寛
野原利明
田中時雄
三田修

組織・管理委員会理事

中村清
近藤暢造
河合信也
辻本秀一

常務理事

藤井信次
藤井政幸
山内信彦
職員一同